

朋鳥



岩手県立盛岡第三高等学校同窓会事務局
〒020-0114 岩手県盛岡市高松四丁目17-16
TEL 019-661-1735 FAX 019-661-1221

同窓会報 2022

●発行 令和4年9月30日



学校行事 上・中(体育祭) 下(三高祭)

盛岡三高は60周年を迎えます。



部活動 上からボート部・なぎなた・新体操部

記念式典

令和4年**10月14日**(金) **岩手県民会館大ホール**

〒020-0023 盛岡市内丸13-1 TEL 019-624-1171

記念講演会 柏崎 健太氏 (37回生・株式会社 NTTドコモ MANAGEMENT-K代表)

- 新型コロナウイルス感染症対策のため、記念式典は在校生のみで行い、祝賀会は実施しないことといたしました。ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。
- 特別番組について
IBC「盛岡三高創立60周年特別番組(仮題)」令和4年11月23日 午後放送予定
- 60周年記念誌について
令和5年2月末に発刊予定。販売については来年度になってから開始します。HPまたは会報でお知らせします。

会員の皆様には、新型コロナの厳しい状況の中で、一日も早い収束のために努力されておられることと拝察いたします。

コロナの影響は、学校生活の中でも、クラブ活動の対外的な行動制限や学校行事への参加者の制約など、より強い感染防止対策が求められているとのことです。例年3月の卒業式には来賓として祝辞を述べる機会がありますが、急遽出席が取止めになりました。さらに4月の入学式や8月の三高祭なども来賓を含めて外部の人を入れない形で実施されています。

このような中ですが、三高は1963年に創立してから60年を迎えます。学校、同窓会、PTA及び教育振興会の四者で、創立60周年記念事業推進委員会を組織し、大きな節目ではないこと、コロナ下で対外的な事業は行わないことの方針のもと進めています。10月14日に岩手県民会館で記念式典を行う予定ですが、残念ながら在校生のみで行うこととしています。記念式典の様子や60周年のあらましについては、後日地元テレビ局から特別番組として放送する予定です。

同窓会活動においては、総会や懇親会、さらには関東支部の総会、新人歓迎会なども直接集まることで



同窓会長
泉山良男

60年の蓄積

きない状態で来ています。この原稿を書いている段階では、今年は総会のみを開催することで進めています。しかし、1日当たりの新規感染が過去最多を更新するなどの状況も見られますので、今後の変化も見ながら進めることで理解をお願いします。

60年といっても、在籍した時代、在学中のクラブやクラスでの活動も違います。しかし、活動中での困難や苦悩を克服して得られた成果が、ずっと蓄積されて今日の三高があるわけです。皆さんの60年の蓄積が、今後とも後輩に引き継がれていくことを切望します。



校長
木村 克則

啓示の明星は還暦を迎えますが、輝き続けます。

校長として2年目を迎えました。最近の三高の様子をお伝えします。

まずは新型コロナ感染症の影響です。生徒が感染対策をしっかりしていたからでしょう、今年の1月末まで陽性者は一人も出ませんでした。学校規模を考えると奇跡的と言ってもいいです。ただ、県の緊急事態宣言が発令された1月末からは断続的に陽性が確認されました。今年8月末現在計89名です。最も多いのが8月で31名、9月は減少しそうですが、厳しい状況が続いています。そんな中、クラスターはありません。これこそ、生徒がマスクや黙食、消毒など基本的な対策をしっかりしている成果だと思っています。

部活動での活躍も続いています。今夏のインターハイと全国高総文祭に限っても、新体操部、ボート部女子、陸上部女子競歩、吹奏楽部、文芸部、理数探究クラス物理班、視聴覚委員会、美術部が出場しました。東北大会出場まで広げると、卓球部男子、テニス部女子、ソフトテニス部女子、剣道部男女、水泳部も出場しました。顧問には、勝利至上主義でなく人格形成を最優先に、と話していますが、大会やコン

クールも素晴らしい成果を上げています。

さて、三高は今年還暦を迎えます。が、輝きは変わりません。社会が加速度的に変化し、その変化も見通せず、不安定・不確実な時代です。素直に何かに従う人材でなく、リスクを自覚しながら課題に切り込んでいく人材が必要な時代です。切り込んでいくと言っても、周囲を傷つけながらでなく、周囲と対話しながら、異なる意見も踏まえながら、様々調整しつつ、課題を解決するような大人になってほしいと考えます。昨年度以降、「随処為主」をさらに進める方向を探っています。学校からの「強制」を減らし、生徒の自己決定を増やしたいと考えています。

その象徴的なものを一つ紹介します。昨年度から制服に関して、生徒会が中心となって検討しています。スカートについて「自転車走行で危険。冬は寒い。女性というイメージがあり履くことに抵抗あり。」との要望が出されたのがきっかけです。5月の生徒総会では、執行部が女子用スラックスや現行に加える「第三の制服」について説明していました。まだ結論が出るには時間がかかりそうですが、同窓生の皆さんにとって、制服は思い入れがあると思いますので、事前にお知らせしました。

今後とも、本校へのご理解ご支援をよろしく願います。



十年

中村 更紗 (2012年3月卒業)

東京に来て十年が経った。正確に言うと、十年と少し、4ヶ月。月日が経つのは早い。十年前の私はまだまだ箱入り娘で、外の世界を知ったようで今思えば全く知らなかった。将来の夢など特になく、ただ、「東京に出たい」という気持ちだけを持っていた。好きなことの中で、将来周りの皆が目指しているような仕事になるものが見つからず、たった1つ、色彩が好きというだけで父の勧めで都内の美大を受けることにした。目標を持った途端やる気が出て、3年生の夏休みにもなろうとしているのにデッサン教室に通い始めた。センター入試という受験方法があり3教科で必ず8割以上を取らなければならなかった事もあり、放課後は図書室に籠るかデッサン教室に通う日々が続いた。センター試験を無事突破し、いざ実技試験。当たり前のように不合格だった。何年も何年も絵を描いてきた人たちが溢れる受験会場の空気は、それまで経験したことのない程庄のある場所だった。不合格になった時すでに季節は春、3月。路頭に迷いつつも東京に行く事だけは諦めていなかった私に、また父が助け舟を出した。不合格だった美大と同じ学科のある服飾の専門学校があったのだ。

4月、私は晴れて上京した。美大を浪人するか決めかねていた私は、当初希望した学科ではなく、まずは1年、昼間はアルバイトをしながら夜間の学部に通うことにした。そこには、昼の時間働いている人やダブルスクールをしている人、60歳を超えた人まで幅広い人たちが通っていて、学校は新宿のど真ん中で、生徒数は計り知れず、国籍も性別も関係なかった。田舎者の私には、とてつもなくカラフルな場所だった。今も関係が続いている同級生や先輩との関わりも出来た。それから7年近くも続ける事になるアルバイトは、東京生活の第2の家と第2の家族になる良くも悪くも東京を教えてくれる大人たちと沢山出会えた場所だった。1年後。通う内にその学校が大好きになってしまった私は、美大に行くことをやめ、同じ学校の当初予定していた学科に通うことにした。その学科の名前はテキスタイル科といい、洋服になる前の生地を作る、染織の知識に長けた学科だった。手織り手染めなどのアナログから機織り機の組織図作りやPC上でデータを作成するデジタルプリントまで、その分野を学ぶには十分な環境だった。山のような課題もこなし、大切な友人たちとの出会いも経験し、毎日のようにアルバイトをして帰り道に酒を飲んだ。順調とは言えないが確実に学生生活を送り、ついに来た卒業年度の夏。卒業制作を制作している最中、全く作品が進まなくなった。それまで自信を持って作品を仕上げてきていたが、ある日突然それらがゴミに見え、作る先から捨てる日々を過ごした。私は父に謝り、休学をした。恐らく人生初の大きな挫折だった。

何も手に付かない程無気力な日々が訪れたが、自分の情けなさに嫌気が差し、何か別の、今まで体験してきていない表現方法に触れようと思いついた。母の趣味や一人っ子だった事もあり幸い幼い頃からダンスやピアノなど沢山の習い事をさせて貰っていたので、なかなか未体験で興味のある表現方法が思い付かなかったのだが、ふと、「芝居」という言葉が頭に思い浮かんだ。それからすぐ「芝居 レッスン」と検索し、1番上に出てきた所に体験レッスンを申し込んだ。今も続けることになる、芝居との出会いだった。そこで1年レッスンを受けた後、初舞台を踏んだ。池袋にある東京芸術劇場シアターイーストという大きな劇場だ。見習いのよう

な端役ではあったが、幼い頃のダンスの発表会や吹奏楽部だった頃に立った県民会館の大ホールを彷彿とさせ、血が騒いだのを覚えている。私のいたい場所はここかも知れない、そう思った。それからレッスンと舞台出演を続けながら、復学した専門学校も無事卒業し、役者の道に本格的に入っていた。入ったと言っても事務所等に入る訳でもなく、アルバイトをしながら、馴染みの劇団や先輩伝いで年数本とにかく舞台に立ち続けた。働いて、稽古をして、お酒を飲む日々だった。働いていると言っても生活は当たり前前に苦しく、周りが就職し安定した生活を送るようになる中、私はまだ父に助けられ母には心配をかけていた。この道を辞めたくないと思う反面、情けなさが積もっていた。そしてある時、1つの舞台でようやく大きめの役を貰えた。つかこうへいのストリッパー物語に出てくる、みどりという役だ。私はついに芝居好きの父に喜んで貰える時が来たと思った。それまでも出演がある度母と共に足を運んでくれてはいたが、その役は私の中で、この役は絶対と思える役だった。

稽古が始まって少し。父が倒れたと母から連絡が入った。意識がない、と。父が延命治療を望まないということは分かっていたが、やはりその時になると母も私も命が消える覚悟が出来ず、申し訳なさを感じながら人工呼吸器を選択した。翌朝、1番の新幹線で帰省し、叔父の運転する車で病院に向かった。父の意識は戻っておらず、よくドラマなんかで聞いたことのあるピピピという音だけが病室に響いていた。頭が真っ白になった。もう何も出来ないと思った。それだけ父の存在が私の中で大きかったということに気付かされた。最後のメールに返信していなかったことを人生で1番悔いた。父の横で父の顔を見ながら涙が止まらなかった。しかし、ひとしきり泣いた後、ふと不思議と父の死を受け入れ寧ろ沢山の人の見送って貰いたいという気持ちになった。そこから父の携帯電話にあるすべての連絡先に倒れた旨と死期が近いことを知らせるメールを送った。1日もすると凄惨な数の返信があり、それぞれの想いや病院に訪問しても良いかなど記されていた。そこから数日間、沢山の人が訪れ父との言葉のない会話をしていた。意識のない姿に涙を流す人、父の好きなチョコレートを買ってきてくれる人、父を知る人に連絡をして連れて来てくれる人。皆、父の手を握りながら私と母の知らない父の姿を一生懸命私たちに教えてくれた。そんな日々が過ぎ、父の肉体はここにあるがもしかしら魂はもうここにはいないのかもね、と母と話した朝、父の耳元で稽古に戻ろうと思うと伝えた。格好をつけられるような心気ではなかったが、戻らなければならないと思った。その夜、父が亡くなった。病室で私が次の日東京に帰れるよう片付けをし、母が駐車場にある車に荷物を取りに行ったタイミングだった。運良く私も母も父に感謝を伝えながら看取ることが出来た。安らかな寝顔だった。東京に戻り稽古に励んだ。舞台千秋楽、冗談ではなく劇場に父がいたのを感じた。後日談だが、辛気臭いのは嫌だねと母と決めた父のお葬式は、沢山の父を知る人の力を借り、語る会と称してメトロポリタンホールで150人の宴会をした。円卓を囲んで知らない人同士がお酒を酌み交わし父の話をして笑い合う、とても思い出に残る会だった。

その日から今日までの5年間。正直言ってそれほど記憶がない。というのは流石に冗談だが、何だかあの日からすっかり良くも悪くも自分が変わってしまったように思っている。コロナが流行してからはますます生活も苦しくなり、死に物狂いで生きることをしてきた5年だった。その中でも信じる人たちに出会えた。芝居は今も続けている。丁度数日前、主演に選んで貰ったインディーズ映画の2週間上映が終わった。まだまだ辞めずにいたいと思う、というより辞め時が分からない程終わりが見えず苦しく結局楽しいのだと思う。長くなってしまったが、これが私の東京で生きた十年のハイライトだ。たかが十年、されど十年。これからの十年もまた色々なことが起きるのだろう。それでもどうにか、生きていこうと思う。

2022

部活動 報告



野球応援



音楽部定期公演

<運動部>

陸上競技部

- 第74回岩手県高等学校総合体育大会
 - ▼男子 100m 3位 石井 惺
400m 6位 前川岳登
5000W 4位 工藤直毅
1600R 3位
及川・石井・磯邊・前川
 - 砲丸投 4位 小倉直浩
800m 6位 水野佳世
3000m 6位 水川月香彩
5000W 2位 加藤萌愛
砲丸投 5位 吉田真優
 - ▼女子 砲丸投 4位 小倉直浩
800m 6位 水野佳世
3000m 6位 水川月香彩
5000W 2位 加藤萌愛
砲丸投 5位 吉田真優
- 第77回東北高等学校陸上競技大会
 - ▼男子 100m 準決勝敗退 石井 惺
400m 予選敗退 前川岳登
1600R 準決勝敗退
石井・前川・吉田・及川
 - 5000W 決勝17位 工藤直毅
砲丸投 決勝12位 小倉直浩
予選敗退 水野佳世
▼女子 800m 予選敗退 水野佳世
3000m 決勝23位 水川月香彩
5000W 決勝3位 加藤萌愛
(インターハイ出場)
 - 砲丸投 決勝24位 吉田真優
- 2022岩手県陸上競技選手権大会
 - ▼1部男子 5000W 6位 工藤直毅
 - ▼1部女子 5000W 1位 加藤萌愛
(東北総体出場)
- 2022第74回岩手県民体育大会
 - ▼2部女子(高校女子)
 - 3000W 第1位 加藤萌愛 大会新
 - 1500m 第3位 水川月香彩
 - 800m 第4位 水野佳世
 - 第5位 水川月香彩
- 全国総合体育大会 陸上競技大会
 - ▼女子 5000w 予選敗退 加藤萌愛
- 第49回東北総合体育大会 陸上競技
 - ▼女子 5000w 第2位 加藤萌愛

バスケットボール部

- 第74回岩手県高等学校総合体育大会
 - ▼男子 2回戦 盛三 94-56 一戸
 - 3回戦 盛三 57-62 盛岡工業
 - ▼女子 2回戦 盛三 82-59 一戸
 - 3回戦 盛三 99-86 葛巻
 - 準々決勝 盛三 74-106 一関学院
ベスト8

バレーボール部

- 第74回岩手県高等学校総合体育大会
 - ▼男子 盛三 2-0 盛岡商業
 - 盛三 2-0 花巻北
 - 盛三 0-2 花巻東 ベスト8
 - 優秀選手賞 主濱晴人
 - ▼女子 盛三 2-0 宮古水産
 - 盛三 2-0 盛岡北
 - 盛三 0-2 盛岡誠桜 ベスト8
 - 優秀選手賞 工藤みのり

卓球部

- 第74回岩手県高等学校総合体育大会
 - ▼男子 ダブルス 川田隼也・島山彰太
ベスト8 (東北大会出場)
 - 千葉悠希・佐藤晴澄 2回戦敗退
 - 学校対抗 第2位 (東北大会出場)
 - シングルス 川田隼也 2回戦敗退
島山彰太 ベスト12 (東北大会出場)
 - ▼女子 学校対抗 ベスト8
 - シングルス 田鎖海由 2回戦敗退
岩崎文菜 2回戦敗退
- 第76回東北高等学校卓球選手権大会
 - 団体戦 1回戦(対秋田) 0-3 敗退

- ダブルス 島山彰太・川田隼也
1回戦(対由利工業) 1-3 敗退
- シングルス 島山彰太
1回戦(対酒田光陵) 3-1 2回戦進出
2回戦(対福島東稜) 0-3 敗退

ソフトテニス部

- 第32回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会兼ハイスクールジャパンカップ2022(ダブルス・シングルス)予選会
 - ▼男子 ダブルス 五市日康優・滝浦幸永 1回戦敗退
攝待新太・小川智世 3回戦敗退ベスト32
杉山智昂・高橋 輝 3回戦敗退ベスト32
 - シングルス 佐藤稜太 1回戦敗退
杉山智昂 3回戦敗退ベスト32
攝待新太 3回戦敗退ベスト32
 - ▼女子 ダブルス 菊地奏美・及川綾香 2回戦敗退
田中もも・中村茉椰 3回戦敗退ベスト32
大吹 空・佐々木萌 4回戦敗退ベスト16
伊東希雪・岩澤柚奈 5回戦敗退ベスト8
 - シングルス 及川綾香 2回戦敗退
菊地奏美 2回戦敗退
大吹 空 3回戦敗退ベスト32
伊東希雪 4回戦敗退ベスト16
田中もも 準優勝(2位) (全国大会出場)
- 第74回岩手県高等学校総合体育大会
 - ▼男子 個人戦 東澤一步輝・佐藤稜太 2回戦敗退
攝待新太・小川智世 2回戦敗退
杉山智昂・高橋 輝 4回戦敗退
東北代表決定戦 2回戦敗退ベスト12
 - 団体戦 2回戦 盛三 3-0 種市
3回戦 盛三 0-2 黒沢尻工業
 - ▼女子 個人戦 菊地奏美・中村茉椰 3回戦敗退ベスト32
大吹 空・佐々木萌 3回戦敗退ベスト32
伊東希雪・岩澤柚奈 3回戦敗退ベスト32
田中もも・山本 遙 4回戦敗退ベスト12
 - 団体戦 2回戦 盛三 3-0 久慈東
3回戦 盛三 2-1 盛岡第一
準々決勝 盛三 2-1 黒沢尻北
準決勝 盛三 1-2 高田
東北代表決定戦 2-1 一関第一
3位 (東北大会出場)
- 令和4年度東北高等学校選手権大会ソフトテニス競技
 - 団体戦予選リーグ 盛三 1-2 秋田令和
盛三 0-3 学法石川(福島)
盛三 0-3 常盤木学園(宮城)
予選リーグ敗退
- 第51回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス2022
 - シングルス 1回戦 田中もも 4-0 旭川商業(北海道)
 - 2回戦 田中もも 0-4 米子松隆(鳥取)
ベスト32

剣道部

- 第74回岩手県高等学校総合体育大会
 - ▼男子 団体戦予選リーグ 盛三 3-2 黒沢尻北
盛三 1-2 江南義塾
 - 決勝トーナメント 1回戦 盛三 3-2 黒沢尻北
2回戦

- 盛三 0-5 花巻南 ベスト8
- 個人戦 田村京己 ベスト8
五十嵐碧(4回戦)、篠畑大樹(4回戦)、沖 伶(3回戦)、若生友慧(2回戦)、大和田俊介(2回戦)、中村羽太(2回戦)、柳村 響(1回戦)
- ▼女子 団体戦予選リーグ 盛三 2-0 江南義塾
盛三 4-0 一関第一
決勝トーナメント1回戦 盛三 0-4 福岡
- 個人戦 長岩莉子 ベスト8
及川みのり(4回戦)、木村彩瑚(3回戦)、山内菜々子(3回戦)、中村 雛(3回戦)、小笠原結実(1回戦)、村松和花菜(1回戦)、藤村芽生花(1回戦)
- 第68回東北高等学校剣道選手権大会
第54回東北高等学校女子剣道選手権大会
 - ▼男子 個人戦 2回戦 田村京己 1-1 秋田南
 - ▼女子 個人戦 1回戦 長岩莉子 3-3 山形・米沢中央
2回戦 長岩莉子 0-2 井上由海
(福島・郡女大附高)

野球部

- 第74回岩手県総合体育大会硬式野球競技兼第69回春季東北地区高等学校野球岩手県大会
 - 1回戦 盛三 6-3 専大北上
 - 2回戦 盛三 4-3 黒沢尻工
 - 準々決勝 盛三 3-1 大船渡
 - 準決勝 盛三 0-5 盛岡大附
 - 3位決定戦 盛三 5-6 久慈 ベスト4
- 第104回全国高等学校野球選手権岩手大会
 - 1回戦 盛三 3-1 釜石商工
 - 2回戦 盛三 4-3 宮古
 - 準々決勝 盛三 4-6 盛岡中央 ベスト8

水泳部

- 若手県選手権大会
 - ▼男子 200m自由形 6位 小笠原暖人
400m自由形 8位 小笠原暖人
 - ▼女子 100m自由形 3位 小野寺胡桃
200m自由形 3位 小野寺胡桃
400m自由形 3位 小野寺胡桃
- 若手県選手権大会(競泳)
 - ▼男子 100m自由形 20位 川戸 瑛太
200m自由形 11位 川戸 瑛太
200m自由形 4位 小笠原暖人
(東北大会出場)
 - 400m自由形 5位 小笠原暖人
(東北大会出場)
 - 50m自由形 23位 廣田 白馬
100m平泳ぎ 23位 去石 真成
100mバタフライ 14位 河田友羽生
200mバタフライ 12位 河田友羽生
4×100mフリーリレー 10位
4×100mメドレーリレー 8位 (東北大会出場)
4×200mフリーリレー 7位
 - ▼女子 200m自由形 4位 小野寺胡桃
(東北大会出場)
 - 400m自由形 2位 小野寺胡桃
(東北大会出場)
 - 100m平泳ぎ 10位 赤平 夕芽
200m個人メドレー 6位 赤平 夕芽
(東北大会出場)
 - 50m自由形 18位 松田 果歩
50m自由形 26位 玉澤日咲子
4×100mフリーリレー 9位

学校ホームページお知らせ 生徒の活動等詳しくはHPをご覧ください。 <http://www2.iwate-ed.jp/mo3-h/>

●岩手県選手権大会(飛込)
▼女子
高飛込 1位 田島 涼
3 M飛板飛込 1位 田島 涼 (東北大会出場)
学校対抗 1位 盛岡第三高校 16点
●令和4年度東北高等学校選手権水泳競技大会(競泳)
▼女子
200m自由形 6位 小野寺胡桃
400m自由形 8位 小野寺胡桃
●令和4年度岩手県高等学校新人大会水泳競技(飛込)
▼女子
高飛込 1位 田島 涼
3 m飛板飛込 1位 田島 涼
学校総合 1位 盛岡第三高等学校

弓道部

●第64回岩手県弓道選手権大会
▼2部 高校女子 第4位 岩崎さくら
●第74回岩手県高等学校総合体育大会
▼男子団体 7位
藤島大輝・熊谷 響・上山拓人・
小山田駿・高橋耕平
▼女子団体 3位
伊藤詩乃・坂口 萌・鎌田有希奈・
女ヶ澤莉奈・杉村彩希
●第14回岩手県高等学校弓道遠の選手権大会
▼女子の部
第3位 盛岡第三A
山下さくら・小原日菜・佐々木はる菜

ボート部

●第74回岩手県高等学校総合体育大会
▼男子
シングルスカル
4位 福田新大
四戸真生 敗者復活戦敗退
ダブルスカル
5位 太野佑耶・千葉遙登
▼女子 総合第2位
シングルスカル
4位 帷子菜々香
3位 細屋愛瑠 (東北大会出場)
舵手付クォドルブル
1位 C 泉 怜那・S 高松久琉美・3 岩崎由奈・2 三浦佳歩・1 伊藤聖華 (インターハイ出場)
3位 C 加藤 友・S 稲村心夏・3 岩淵華・2 工藤 直・B 内田さくら
●第48回東北高等学校ボート選手権大会
▼女子
シングルスカル
細屋愛瑠 敗者復活戦途中棄権
舵手付クォドルブル
6位 C 泉 怜那・S 高松久琉美・3 稲村心夏・2 三浦佳歩・B 伊藤聖華
●第74回岩手県民体育大会ボート競技
▼男子
少年男子シングルスカル
3位 四戸真生
佐藤 蓮 予選敗退
少年男子ダブルスカル
S 佐々木健太・B 佐々木優翔 予選敗退
▼女子
少年女子シングルスカル
3位 細屋愛瑠
4位 帷子菜々香
稲村心夏・岩淵 華・内田さくら・
工藤 直・加藤 友 いずれも予選敗退
少年女子ダブルスカル
1位 S 穴戸蘭望・B 高橋舞乙
●令和4年度国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会
▼女子
少年女子舵手付クォドルブル
3位 C 加藤 友・S 高松久琉美・2 三浦佳歩・B 伊藤聖華
●全国高等学校総合体育大会ボート競技大会
第70回全日本高等学校選手権競漕大会
▼女子
女子舵手付クォドルブル
C 泉 怜那・S 高松久琉美・3 岩崎由奈・
2 三浦佳歩・B 伊藤聖華 準々決勝敗退

サッカー部

●第74回岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 盛三 1-0 花北青雲
2回戦 盛三 1-3 水沢

新体操部

●第74回岩手県高等学校総合体育大会
団体競技
1位 合川・阿部・井上・成瀬・平 (東北選手権・インターハイ出場)

個人総合
3位 合川美輝 (東北選手権出場)
4位 阿部未悠
種目別
フープ
2位 合川美輝 4位 阿部未悠
ボール
3位 合川美輝 5位 阿部未悠
●第74回岩手県民体育大会
団体
1位 合川・阿部・井上・成瀬・平
種目別
フープ
2位 合川美輝 4位 阿部未悠
種目別
ボール
3位 合川美輝 5位 阿部未悠
●第51回東北高等学校新体操選手権大会
団体
5位
個人競技 12位 合川美輝
種目別
フープ 12位 合川美輝
ボール 13位 合川美輝
●全国高等学校総合体育大会新体操選手権大会
団体 第36位 合川美輝・阿部未悠・井上 遥・成瀬爽耶・平羽 佑

ラグビー部

●第74回岩手県高等学校総合体育大会
Bブロック
1回戦 盛岡合同(盛三・盛北) 0-38 一関工業
敗者戦 盛岡合同(同上) 0-24 岩手
●第102回全国高校ラグビー岩手県大会
1回戦 盛岡合同(盛岡三・盛岡北)
10-26 宮古合同(宮古・宮古商工)

ハンドボール部

●第74回岩手県高等学校総合体育大会
▼男子
1回戦 盛三 32-17 紫波総合
2回戦 盛三 8-29 不来方
▼女子
1回戦 盛三 20-19 花巻北
2回戦 盛三 16-21 白百合 ベスト8

バドミントン部

●第74回岩手県高等学校総合体育大会
▼男子
団体戦 1回戦 盛三 1-3 盛岡商業
▼女子
団体戦 1回戦 盛三 3-1 花巻農業
2回戦 盛三 0-3 盛岡市立
個人戦 1回戦 瀬浪香葉 0-2 花巻北
●第67回岩手県種目別バドミントン選手権大会
個人戦
▼男子
ダブルス
泉館政宗・猿ヶ澤遥大 0-2 西和賀
小高祥矢・平沢拓人 0-2 専大北上
シングルス
滝村大智 0-2 水沢第一
伊藤 碧 0-2 黒沢尻北
▼女子
ダブルス
鴻巣陽香・渡邊咲那 0-2 水沢商業
佐々木雪乃・斉藤優奈 0-2 北上翔南
シングルス
大坪澄佳 0-2 千厩
赤坂和奏 0-2 花巻北

テニス部

●第43回岩手県ジュニアテニス選手権大会
▼男子
ダブルス 井上・小川 ベスト16
▼女子
シングルス 5位 齋藤 8位 似里
7位 千葉(U-16)
ダブルス 3位 齋藤・京野(水沢)
●第74回岩手県高等学校総合体育大会
▼男子団体戦
1回戦 盛岡三 2-1 盛岡北
2回戦 盛岡三 0-3 岩手 ベスト8
シングルス 小川 ベスト32
▼女子団体戦
1回戦 盛岡三 3-0 不来方
準決勝 盛岡三 2-0 盛岡第一
決勝 盛岡三 0-2 盛岡第四 準優勝(東北大会出場)
シングルス 外川 ベスト16
齋藤 ベスト32
似里 ベスト32
ダブルス 外川・似里 ベスト8
齋藤・村上 ベスト16
●第63回東北高等学校テニス選手権大会
団体戦
1回戦 対聖愛(青森第2代表) 2-1 勝利
2回戦 対寒河江(山形第1代表・東北第2シード) 0-2 敗退 ベスト8

空手道部

●第52回岩手県空手道選手権大会
▼高校生女子 組手 3位 佐々木茜
●第74回岩手県高等学校総合体育大会
▼女子個人 形 佐々木茜 予選敗退
組手 佐々木茜 1回戦敗退

<文化部>

吹奏楽部

●令和4年度岩手県高等学校文化連盟吹奏楽専門部セミナーサポート事業課題曲講習会参加
●第46回全国高等学校総合文化祭東京大会吹奏楽部門 出場
●第60回岩手県吹奏楽コンクール 金賞
●第65回東北吹奏楽コンクール 銅賞

写真部

●岩手日報社第40回高校生フォトコンテスト 2席 長谷川芽澄 「撮影するモノといえど？」
●岩手県高文連写真専門部主催第13回夏季写真コンテスト 入選 松井花珠「西瓜」

書道部

●第20回岩手県高等学校書道作品コンクール 書道協会会長賞 村上結音
奨励賞 佐藤楓香・長沼亜依
小原日菜・桃李百恵
●第17回岩手日報高校書展
優秀賞 村上結音 山火那月
秀逸賞 田村京珠 長沼亜依 飛塚美咲
入選 佐藤楓香 三浦柚葉 桃李百恵
●第23回高校生国際美術展 書の部
佳作 田村京珠 村上結音 山火那月
山崎 萌 柿崎千歳(書道選択生)

囲碁将棋部

●第44回岩手県高等学校将棋大会
個人戦 B級 第1位 山下 遼
団体戦 B級 第1位
清野想太・山下遼・南館日奈太
●高校将棋竜王戦
B級 第3位 高橋 輝

演劇部

●第76回県北・北盛岡ブロック高校演劇研究発表会
優秀賞

音楽部

●第74回全日本合唱コンクール岩手県大会
銀賞

文芸部

●第7回高校生万葉短歌バトルin 高岡 準優勝 チームおおとり (佐藤麻尋・山田真嘉・大坊千有)
●第17回全国高校生短歌大会(短歌甲子園2022) 団体戦 第3位 盛岡第三 (嶋菜・水上桃果・岩崎野乃花・向川千代)
個人戦 決勝出場 向川千代
●第46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう2022) 文芸部門 参加 本宮大貴

美術部

●岩手県高等学校文化連盟美術工芸専門部 セミナーサポート事業参加
●第46回全国高等学校総合文化祭 美術工芸部門 出品 畑中みく

視聴覚委員会

●第49回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼第69回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手大会
アナウンス部門
優秀賞 柗沢璃里 (NHK杯全国高校放送コンテスト出場)
ラジオドキュメント部門
優秀賞 百合川暖葉 (NHK杯全国高校放送コンテスト出場)
優良賞 坂井田倫奈 (NHK杯全国高校放送コンテスト出場)
テレビドキュメント部門
優良賞 佐々木ひな (NHK杯全国高校放送コンテスト出場)
●第46回全国高等学校総合文化祭東京大会アナウンス部門 出場 柗沢璃里

母校支援 寄付のお礼

創立50周年の翌年（平成25年度）より、母校支援のために会員の皆様をお願いしています寄付も9年目となり、今年度も多くの皆様から多大なるご厚情賜り、誠にありがとうございます。

今年度は皆様から頂いた寄付の中から、部活動特別振興費に50万円を補助し、運動部活動用備品（移動式ガラスミラー、オリンピックバーベルシャフト）の充実を図ったところです。新型コロナの関係もあり対外的な活動に制約はありますが、日頃の努力を積み重ねて、今後その成果を上げてくれるものと期待をしております。

今後も引き続き、次期周年行事にかかる資金の計画的な積立を行いながら、母校生徒の諸活動の充実に向け支援していく所存であります。今後とも本趣旨に対し、何分のご配慮を賜り、会員の皆様のご助力を頂ければ幸いです。

ただ、依然新型コロナウイルスの見通しが立たない状況にあります。その影響で大変苦労されている方も多いことと存じますので、何卒、ご自身のことを最優先していただきますようお願い申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

同窓会会長 泉山 良男

同窓会役員名簿

会 長	泉山 良男 (2回生)				
副 会 長	滝村 民明 (1回生)	山内 隆文 (5回生)	藤原 誠司 (13回生)		
理 事	増澤 ひかり (3回生)	小綿 明 (7回生)	藤原 誠徳 (9回生)		
	村田 達彦 (13回生)	及川 正樹 (15回生)	伊勢 志穂 (16回生)		
	佐藤 直 (16回生)	菅 昌明 (17回生)	小笠原啓助 (21回生)		
	袴田 恭司 (24回生)	馬場 暁彦 (24回生)	深田 真弓 (40回生)		
監 事	横澤 忠 (2回生)	藤田 光孝 (3回生)			
顧 問	木村 克則 (校長)				
関東支部会長	後藤 良平 (14回生)				
事務局 長	塚田美和子 (27回生)				
事務局次長	山下 佳子 (28回生)	佐藤 義之 (32回生)	齊藤 芳朋 (35回生)		
事務局員	柴田 良範 (14回生)	中館 豊 (15回生)	米沢 崇史 (33回生)		
	吉田 哲郎 (34回生)	及川 敏生 (41回生)	野寄 友則 (41回生)		
	高橋麻美子 (36回生)	太田 柚子 (48回生)			

事務局より

日頃より、会員の皆様には同窓会活動に対しご理解とご支援を頂きありがとうございます。

- ① 今年度も例年通り株式会社サラトの協力を得て会報を発送しております。住所変更がございましたら、「住所変更のご連絡方法」をご参照のうえ、ご一報をお願い致します。
- ② 今年3月で57回生の卒業となりましたが、同窓会理事にも様々な世代の方に参加して頂き、建設的なご意見を賜りたいと考えております。できれば各学年で最低1名は参加して頂ければというのが、現在の同窓会の希望です。その上で理事に立候補して頂ける方は是非、事務局へ連絡をお願い致します。

「盛岡三高 鵬同窓会 関東支部」を紹介します。

鵬同窓会関東支部は、関東在住の有志によって運営されています。1回生(75歳)から、57回生(18歳)まで、世代を越えての気軽な集まりです。

「関東支部新人歓迎会」は、今年も6月28日(日)にオンラインで行うことができ、新人さん2名(57回生)とOB 10名が参加しました。大学の状況や研究したいこと、OBの社会経験の話など、普段聞けない内容で盛り上がりました。弓道部の先輩と後輩もこの場で出会えてよかったです。

毎年恒例の総会・懇親会は、新型コロナウイルス感染の状況を見ながらですが、3年ぶりに2023年2月18日(土)に開催を予定しています。無事に開催ができて、楽しく交流できることを切に願います。

2022.6.28
新人歓迎会の様子



関東支部総会・懇親会予定

日時：2023年2月18日(土) 16時～
場所：東京グリーンパレスホテル(麹町)
※開催は都合により変更される場合があります。

関東支部では、定例幹事会(昨年からはオンライン開催)や、ゴルフや音楽などのさまざまな部会の活動も行っております。懇親会としてオンラインなどで、全国の同窓生と交流をしようと企画中です。ホームページ、Facebook、Twitterなどでもお知らせいたします。

2019年ゴルフ部会



2020年音楽部会



関東支部コロナ支援委員会、活動継続中。ご協力ありがとうございます!

関東支部は、「関東支部コロナ支援委員会」を2020年4月から全国の鵬同窓生に呼びかけ、新型コロナウイルス感染症の影響で生活や学業の継続に困窮している同窓生を支援しています。同窓生の有志に寄付を募り、のべ200件の寄付がありました。支援要請があった同窓生とリモートでの面談を行い、金銭面、アルバイト斡旋、物資の支給などの支援を49件行いました。2021年11月を最後に、支援要請はありませんが、活動は継続中です。引き続きご協力お願いいたします。

ご寄付の振込先：みずほ銀行東京中央支店普通2330400

登録名：盛岡第三高等学校鵬同窓会関東支部 お名前の前に567と付けて振込みください(1000円以上)。

盛岡三高鵬同窓会関東支部ホームページ オフィシャルサイト：<http://moriokasankou.com>

お問合せ：関東支部事務局 ootorikantou@gmail.com 電話 090-9314-5290 安保 亮(あんぼあきら14回生)

Twitter：鵬同窓会関東支部公式 @ootori_kantou

Facebook：盛岡三高鵬同窓会(非公開グループ) <https://www.facebook.com/groups/moriokasanko.otori/>

全国の鵬同窓生が、ご自身の活動や他の同窓生の活躍などをアップしています。
総会やイベントの告知もしています。ぜひ、登録してください!

総会の案内 について

例年10月の第4土曜日に盛岡市にて、開催されておりました「岩手県立盛岡第三高等学校 鵬同窓会 総会懇親会」ですが、新型コロナウイルスの感染状況をみながら、実施時期等を検討しております。決定しましたならば、HP、岩手日報紙面広告でお知らせします。